

令和5年度 日本遺産推進事業の進捗について

1. 普及啓発事業（予算 31,446千円）

(1) 「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催【11月4・5日】

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催を通して、日本遺産の周知と認知度向上を図り、「桑都物語」「桑都・八王子」についても、オープニングやメイン会場の開催市ブース「桑都ブース」などを通し、市内外より訪れた多くの来場者にPRした。

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」来場者数

内容（会場）	11月4日（土）	11月5日（日）
オープニング（J:COMホール八王子）	1,000名	—
メイン会場（東京たま未来メッセ）	22,000名	18,000名



(2) 「桑都テラス」や「はちはく」を拠点とした普及啓発事業の展開

「桑都テラス」では、フェスティバルの前夜祭（宵宮）を、11月3日に開催。構成文化財の「八王子車人形」や「八王子芸妓」の演舞を披露し、全国から日本遺産フェスティバル出展のために訪れた関係者に、八王子の伝統文化をPRした。

また、4日・5日は同会場を利用し、「伝承のたまてばこ」のプログラムが実施され、「八王子車人形」の三番叟やお囃子などが披露された。

「はちはく」では、フェスティバル開催期間中の企画展「桑都はちおうじ絵巻」で、学芸員による展示解説を実施。また、「はちはく」「まちなか休憩所八王子宿」「東京たま未来メッセ」を結ぶスタンプラリーを行い、駅周辺施設の回遊性を高めた。

(3) 令和5年度八王子「桑都物語」日本遺産ウォーク（株式会社歴史シアター・ジャパン）

歴史古道研究家の案内により、日本遺産の魅力を再発見する普及啓発イベント。桑都・八王子に残る古街道と日本遺産のつながりについて参加者に体感してもらえた。

第1回	11月25日（土）
	山田の広園寺と、松姫ゆかりの御所水の伝説古道 （山田・富士森公園編）
	参加者 25名（応募者43名、抽選）
第2回 （予定）	1月20日（土）
	八王子片倉城址から古代遺跡ロマンのみなみ野を歩く
	参加者 30名（予定）



(4) 第44回八王子いちょう祭りにおけるブース出店

来場者に対して日本遺産グッズの販売、各種プロモーション資材の配布を行ったほか、日本遺産PR部の武者所と連携し、広く日本遺産の普及啓発を行った。

開催日：11月18・19日

会場：陵南公園



当日のイベントの様子

2. 調査研究事業（予算 4,000千円）

(1) 日本遺産の活用に関する調査研究

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」エクスカーションツアー（株式会社 JTB）

11月5日にエクスカーションツアーを実施。

構成文化財である「八王子城跡」「滝山城跡」「高尾山」などを巡る3種類のコースに対して募集を行い、関係者をはじめ市内外から計51名がツアーに参加した。日本遺産の今後の活用についての検討材料とするためアンケート調査を行い、ツアーの評価や、訪問先、アクティビティに対する感想などを収集した。

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」エクスカーションツアー

コース	概要	所要時間	参加人数
A	高尾山薬王院と八王子城跡を巡るツアー	約8時間	10名
B	高尾山薬王院を巡るツアー	約6時間	8名
C	滝山城跡と八王子城跡を巡るツアー	約6.5時間	33名

3. 情報コンテンツ作成事業（予算 6,000 千円）

(1) 「日本遺産」案内看板等製作・設置【4月】

日本遺産認定ストーリーや構成文化財を紹介する説明看板等を製作し、設置する。

令和5年度は、構成文化財「小泉家屋敷」における屋内用の説明看板を製作した。（令和2年度からの継続事業）

(2) プロモーション用資材製作・情報発信コンテンツ制作

（ライジングサンコーポレーション株式会社）

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」をより効果的にPRするとともに、最新情報をタイムリーに発信するため、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の特設ページを開設。



4. その他事業（予算 9,635 千円）

(1) 「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の企画運営支援

日本遺産フェスティバル本体事業（オープニング及びメイン会場の PR・展示ブース、公開講座、分科会）に加え、会場周辺で開催するイベントについての、企画・運営に関する支援業務を委託。（屋内：株式会社 JTB、屋外（東放射線アイロード・えきまえテラス）は株式会社 セレスポ）

(2) サイクリングマップを活用した日本遺産プロモーション（Cerchio（チェルキオ））

「桑都物語」ポータルサイトの“桑都物語巡りサイクリング”で公開しているサイクリングマップ（令和3年度作成）について、内容を充実させてデザインを一新し、日本遺産の構成文化財を巡りながらルート上のおすすめスポットも紹介するなど、サイクリングの友としてより分かりやすく扱いやすい紙媒体で制作。

サイクリングを通じた日本遺産のプロモーションを展開した。

